

# 感染状況・医療提供体制の分析(9月21日時点)

【岡山県専門家有志】

(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 *①～③は過去1週間合計	前回の数値 (9月14日時点)	現在の数値 (9月21日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	10962人 (584人)	7680人 (409.2人)	↓	<b>感染状況コメント</b> レベル4. 感染縮小の兆候があるが特別な警戒が必要
		60歳以上 (総数に占める割合)	1424人 (13%)	1014人 (13%)	↓	
	②圏域別 新規陽性者数	県南東部	4829人	3689人	↓	新規陽性者は <u>人口10万人当たり409人</u> と減少。10代以下が占める割合は変わらず多く、35%程を占める。クラスターも継続的に発生。 新規陽性者数の減少は継続しているが、連休が続いたことによる影響にも注視が必要。9/26より全数届出の見直しが行われたり、9/28よりオミクロン株対応ワクチンの接種が県内でも開始されたりと、様々な変化があるが、日常生活の中、個人で行える基本的感染防止策の継続が重要となる。
		県南西部	4717人	2971人	↓	
		高梁・新見	261人	183人	↓	
		真庭	200人	206人	→	
津山・英田	951人	627人	↓			
医療提供体制	③入院患者数 (確保病床における入院割合)	251人 (40%)	211人 (34%)	↓	<b>医療提供体制コメント</b> レベル3. 体制逼迫状態は緩和の兆候があると思われる	
	④宿泊療養者数	68人	39人	↓	新規感染者の減少に伴い、入院患者数や療養者数も減少。医療提供体制への負荷は一部継続しているものの、状況の改善がみられる。	
	⑤自宅療養者数	8649人	6107人	↓		
	⑥重症者数	6人	4人	↓		